



平成20年5月26日

平成20年度ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業(九州運輸局分)

～外国人観光客の九州への更なる誘致に取り組みます！～

観光立国推進基本法の制定を受けて、平成19年6月に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では、観光立国の実現に向けて、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策の柱の一つに「国際観光の振興」が挙げられ、訪日外国人旅行者数を平成22年までに1,000万人にする目標を達成するため、ビジット・ジャパン・キャンペーンの強化、高度化を図ることとされています。

九州運輸局においても、こうした趣旨を踏まえ、外国人観光旅客の九州への更なる誘致に向けて、平成20年度も引き続き、ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業を強力に推進して参ります。

平成20年度の九州におけるビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業では、より効果的な事業の実施、より積極的な情報発信、より大きな成果の獲得を念頭に置きつつ、九州観光推進機構、地方公共団体等との連携を強めて、別紙1に示した「重点市場及び事業戦略」の下、別紙2に示した重点事業をはじめ、別紙3に示した17分類、24事業を積極的に展開していくこととしています。

【連絡先】

九州運輸局 企画観光部 国際観光課

川村、宮野、首藤

電話：092-472-2335

FAX：092-472-2334

平成20年度 重点市場及び事業戦略

九州運輸局対象市場優先度

優先度	国・地域名
最重点市場	中国、韓国、台湾、香港 (東アジア重点4市場)
重点市場	タイ、欧州(仏、独、英)
その他対象市場	米、加、豪、シンガポール

- ★ 九州は東アジアに近い(地理的優位性)
- ★ 九州への外国人入国者数の約9割が東アジアから
- ★ 官民で策定された『九州観光戦略』に基づき、東アジアを主要なターゲットとする事業を展開
- ★ 『第二次九州観光戦略』(2007年10月)において、「東アジアなど」にターゲットを拡大

最重点市場

重点市場

中国	韓国	台湾	香港	タイ	欧州
九州への入国者数 H18 : 6.5万人 前年比+36%	九州への入国者数 H18 : 51.7万人 前年比+35%	九州への入国者数 H18 : 11.1万人 前年比+18%	九州への入国者数 H18 : 1.1万人 前年比-15%	九州への入国者数 H18 : 0.7万人 前年比+40%	九州への入国者数 H18 : 5.1万人 前年比-5%
<ul style="list-style-type: none"> 定期航空路線の約3分の1が九州-中国(6都市)間 九州への入国者数の大きな伸びが期待できる最有望市場 	<ul style="list-style-type: none"> 定期航空路線の約5分の2が九州-韓国(3都市)間の他、海上定期航路あり 九州への入国者数の約65%を占める最大市場 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年6月に宮崎-台湾間の直行定期便が就航予定 九州への入国者数は、過去の九州ブーム期とほぼ同数まで盛り返し 	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年10月に福岡-香港間の直行定期便が就航 過去に九州ブームがあったが、九州への入国者数は減少傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 週10便の定期航空路線あり 九州への入国者数の大きな伸びが期待できる有望市場 	<ul style="list-style-type: none"> 定期航空路線はないが、キリシタン等歴史的なつながりあり 2008年は『日仏観光交流年』

● 九州RAIL・PASS
● SUNQパス

教育旅行、インセンティブ向け
 環境施設(ハウステンボス等)、先端工場(トヨタ北九州工場等)

個人旅行向け
 広域周遊型、体験型観光

一般(団体)旅行向け 「歴史・文化」、「自然風景」、「温泉」、「食」を核とする九州の多彩な観光資源
 韓国市場には、高級純和風温泉、高級スパ、自然食料理等ワンランク上の旅(ロハス九州)

平成20年度 重点事業の概要

基本的な考え方

- ゴールデンルートと比較して認知度が低い九州では、その認知度向上を図る事業と認知度の低さがさほど影響しない個別のテーマの下での着実な実績の積上げを図る事業を2本柱とし、
- 訪日旅行者の満足度を高め、リピーター化を促進するとの観点を踏まえ、
- タイや欧州といった九州にとっての新たな市場にも挑戦しながら、積極的な事業展開を図る。

認知度の向上を図る事業



「歴史・文化」、「自然風景」、「温泉」、「食」を核とする九州の多彩な観光資源＝ブランド「九州」を情報発信。九州は一つの理念の下で観光振興に取り組む「九州観光推進機構」と連携し、各種媒体(テレビ、雑誌、HP、屋外広告等)を活用したブランド「九州」の認知度の飛躍の向上を目指す。



「九州観光推進機構」と連携し、中国、韓国、台湾で開催される現地の大型イベントへの参加、現地説明会の開催等により、九州の多彩な観光資源を一般消費者等に幅広く情報発信することにより、旅行先として「魅力ある九州」とのイメージの定着を図る。

着実な実績の積上げを図る事業



「九州訪日教育旅行促進協議会」の学校交流促進の取組と合わせ、環境問題に積極的に取り組んでいる施設や先進的な工場、農村における民泊等「教育」に相応しい視察メニューのPRにより、将来的に「リピーター」となり得る青少年の国際交流の活性化と教育旅行の誘致を図る。



九州運輸局国際観光アドバイザーの支援を得つつ、スポーツ、文化等の個別のテーマの下、中高年層・青少年をターゲットとしてその国際交流と誘客を促進し、当該テーマの交流・訪日について「まずは九州から」との流れを確立して着実な実績の積上げを図る。

九州運輸局の主導事業

● 九州・タイ双方向観光交流促進事業

タイ国政府観光庁福岡事務所と協働し、九州観光推進機構の協力も得ながら、タイ・バンコクにおける九州観光セミナー及びセミナー参加者の一部を九州に招聘してファムトリップを実施する。



● 欧州等に対する九州の認知度向上事業

日仏観光交流年にあたり、フランスで開催されるイベントへの参加、情報発信ツールの整備を行う。

● 九州における広域周遊型旅行促進のための情報発信事業

(九州広域観光ルート支援モデル事業)

「九州広域観光ルート支援モデル事業」の対象地域に関し、情報発信ツールの整備等を行う。

平成20年度ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業(九州運輸局分) 一覧

事業の分類及び名称			概要	実施時期	対象マーケット	実施主体(協力者)
番号	分類	名称				
1	ブランド「九州」発信事業	① メディアによる情報発信及びマスコミ招聘事業	各種媒体(テレビ、雑誌等)を活用したブランド「九州」の情報発信及びそのためのマスコミ招聘	通年	中国、韓国、台湾、香港	九州観光推進機構
2	重点マーケット新規開拓事業		中国、韓国、台湾で開催される現地の大型イベントに参加し、九州の様々な魅力を消費者等にPR	通年	中国、韓国、台湾	九州観光推進機構
3	ウェルカム九州フェア等実施事業		現地での説明会、商品造成に意欲的な旅行会社のファミトリップ、それに合わせたセミナー、タイアップ広告等、総合的な事業展開	通年	中国、韓国、台湾、香港	九州観光推進機構
4	フレンドシップ九州促進事業		「九州地域訪日教育旅行等促進協議会」による学校交流の促進、現地における修学旅行説明会、教育関係者の招聘	通年	中国、韓国、台湾	九州観光推進機構
5	交流テーマを活用した中国からの誘客促進事業	① 中国老人団体誘致促進事業	中高年層(団体)をターゲット、ターゲット層に人気の高い「健康」をテーマとして、ツアーの催行に影響力の高い政府キーマン、訪日ツアーに実績があり、意欲旺盛な旅行エージェント及び有カマスコミ記者を招聘	通年	中国	大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、下関市
		日中友好都市太極拳交流促進シンポジウム開催事業	日中双方で愛好者が多くポピュラーなスポーツ「太極拳交流」をテーマとし、「日中友好都市交流シンポジウム」を開催。日中代表者間の意見交換会、講演、模範演舞等の実施、九州観光素材のPR	11月	中国	宮崎県、宮崎市
		② 中国青少年団体誘致促進事業	青少年層(団体)をターゲット、「スポーツ等交流」をテーマとして、訪日ツアーに実績があり、意欲旺盛な旅行エージェント及び有カマスコミ記者を招聘	4月～10月	中国	大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、下関市
		③ VIP(高級)ツアー誘致促進事業	クオリティの高いデラックス旅行を志向する富裕層をターゲットとし、VIPツアー実施に前向きな旅行エージェント及び富裕層のキーマンを招聘	5月～6月	中国	大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、下関市
		④ 大型交流団体誘致促進事業	人気が高く愛好者の多い交流テーマの設定の下、政府組織、交流総括組織等のキーマンを招聘	4月～6月 10月	中国	大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、下関市
6	中国農村関係振興団体誘致促進事業		近代農業への転換が進むなかで、そのモデルとして日本の近代的な農業に対する関心が高まっていることから、「一村一品運動」の研修をテーマとし、農村振興関係者を招聘	4月～6月	中国	大分県、鹿児島県、宮崎県、北九州市
7	中国企業等インセンティブツアー誘致促進事業		「美容師研修ツアー」「ホテル研修ツアー」その他、中国でニーズの高いメニューをテーマとして、訪日ツアーに実績があり、意欲旺盛な旅行エージェントや有カマスコミ記者を招聘	4月～6月	中国	大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、北九州市
8	官民の既存ネットワークを活用した中国大連市からの誘客促進事業		行政と民間の既存ネットワークを活用し、中核都市「大連市」の高齢者及び修学旅行をターゲットとし、視察・体験ツアー及び商談会を実施	6月	中国	福岡市、九州縦断県都観光ルート協議会、福岡観光プロモーション協議会
9	リピーター誘致促進事業～韓国FIT向け「街あるきマップ」による情報発信～		インターネット環境が整っている韓国・FITをターゲットとして、主要観光地(10箇所を想定)の「街歩きマップ」をウェブ上に制作・掲載	5月	韓国	九州旅客鉄道(株)
10	体験型を核とする南九州の観光魅力発信事業	① 台湾からの教育旅行誘致促進事業	台湾・宮崎間定期便就航の好機を捉え、教育関係者、旅行会社及びメディアを招聘。教育旅行の目的としての南九州の魅力PR	6～12月	台湾	宮崎県、鹿児島県
		② 台湾FITマーケットに対する情報発信事業	台湾・宮崎間定期便就航の好機を捉え、FITをターゲットとし、有カメディアを招聘して南九州の魅力PR。	6～12月	台湾	宮崎県、鹿児島県、熊本県

平成20年度ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業(九州運輸局分) 一覧

事業の分類及び名称			概要	実施時期	対象マーケット	実施主体(協力者)
番号	分類	名称				
11	広域周遊型北部九州観光ルート開発のための招聘事業		韓国・北九州間に予定されているフェリー航路の開設等を活用した北部九州横断ルートの開発するため、韓国有力エージェントを招聘し、旅行商品の造成を促進	未定	韓国	佐世保観光コンベンション協会、北九州市
12	日韓広域周遊型観光ルートへの青少年等誘致促進事業	① 韓国エージェントを対象とした修学旅行説明会の開催及びファミツアー実施事業	韓国南岸地域をターゲットとし、修学旅行を取り扱う旅行エージェントに対する修学旅行説明会及びファミトリップを実施	10月	韓国	日韓海峡沿岸広域観光協議会
13	特有の観光素材を活用した南九州体験型観光促進事業		北部九州に偏っている韓国からの誘客において、南九州への誘客を目指し、フリーペーパー等の媒体、旅行エージェントの招聘、広告支援を実施	5～7月	韓国	鹿児島県、宮崎県
14	トラベルマート関連事業		「トラベルマート2008春」:ファミトリップ 「トラベルマート2008秋」:ブース出展、ファミトリップ	4・11月	VJC対象国	九州運輸局(九州観光推進機構)
15	九州・タイ双方向観光交流促進事業	① バンコクにおける九州観光セミナー開催事業	タイ国政府観光庁の協力を得て、タイ旅行業協会の定期会合を活用したセミナーを開催、九州の観光資源をPR	7～9月	タイ	九州観光振興機構、(株)バンコクエアウェイズ(タイ国政府観光庁福岡事務所、各県)
		② 九州ファミトリップ開催事業	上記セミナーにおいて高い意欲を示した旅行エージェント及びマスコミ等関係者を招聘	7～9月	タイ	九州観光振興機構、(株)バンコクエアウェイズ(タイ国政府観光庁福岡事務所、各県)
16	欧州等に対する九州の認知度向上事業	① フランスにおける海外イベント参加事業	フランスにて行われる海外イベントに参加し、九州の観光魅力をPR。	11月	フランス	九州運輸局(九州観光推進機構、各県)
		② 情報発信ツールの制作事業	既存の中国語、韓国語版のパンフレット、DVDの多言語化(英語、仏語、独語、タイ語等)	通年	VJC対象国	九州運輸局(九州観光推進機構、各県)
17	九州における広域周遊型旅行促進のための情報発信事業(九州広域観光ルート支援モデル事業の推進)		「九州広域観光ルート支援モデル事業」の対象地域に関し、PRツールの作成、旅行エージェントの招聘・モニターツアーの実施	通年	韓国	九州広域観光ルート支援モデル事業推進委員会

事業総数 17分類、24事業

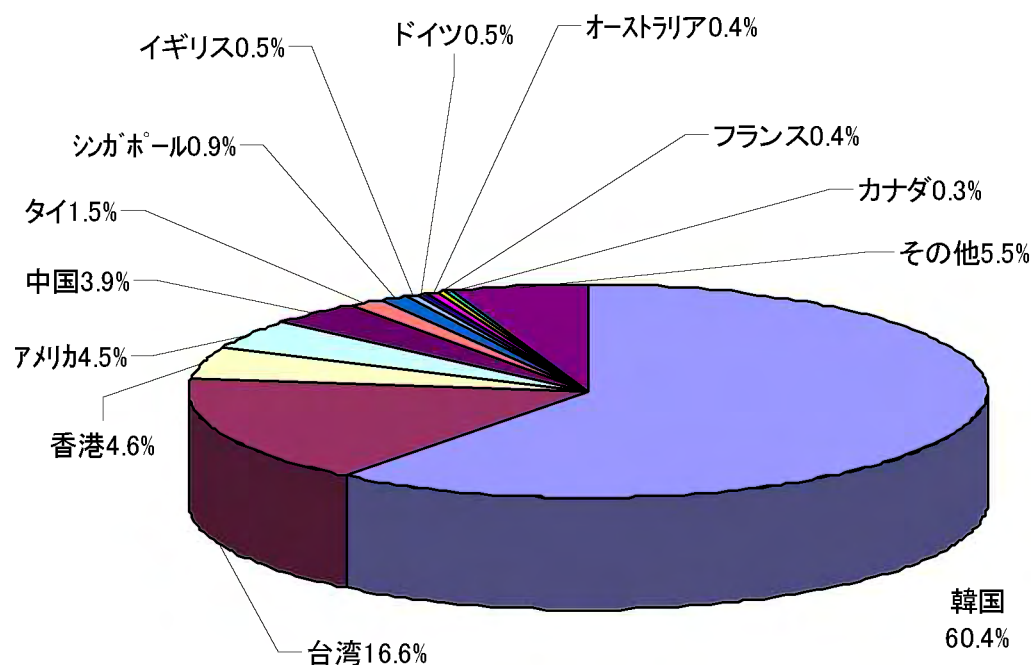
- ①中国対象事業 . . . 12件 ②韓国対象事業 . . . 9件 ③台湾対象事業 . . . 6件
 ④香港対象事業 . . . 2件 ⑤タイ対象事業 . . . 2件 ⑥フランス対象事業 . . . 1件
 ⑦その他(VJC対象国全般) . . . 2件

※1つの事業で複数国・地域を対象とするものがあるため、事業総数と市場別事業数の合計は異なる。

(注) 状況によっては、事業内容等について今後変更等あり得る。

九州における国籍別外国人延べ宿泊者数 (平成19年1~12月)

九州の国籍別外国人延べ宿泊者数は、韓国が6割を占め、続いて台湾、香港の順となっている。



※全国では、韓国(19.4%)、台湾(17.4%)、アメリカ(13.1%)の順

(単位:人泊)

順位	国籍(出身地)	合 計	
		人数	シェア
第1位	韓国	1,171,400	60.4%
第2位	台湾	322,300	16.6%
第3位	香港	88,480	4.6%
第4位	アメリカ	87,370	4.5%
第5位	中国	75,820	3.9%
第6位	タイ	28,730	1.5%
第7位	シンガポール	18,080	0.9%
第8位	イギリス	10,120	0.5%
第9位	ドイツ	10,060	0.5%
第10位	オーストラリア	7,390	0.4%
第11位	フランス	6,950	0.4%
第12位	カナダ	5,820	0.3%
	その他	107,020	5.5%
合 計		1,939,540	100.0%

※国籍不詳を除く: 105, 100人泊